風地蔵新聞

第１６７号
発行　編集
風地蔵
白石　美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町８５
ご感想・エッセー・俳句・短歌・歌・おちまなど待ちおりおお便りを短便しします

久しぶりの九州旅行 パート９

鎌澤　宣子

長～いドラマの始まり始まり！！

大女将さんは、大人になり、お父様が跡取りとして経験を学ばせるために、大学はもちろん仕事もそういった方面に進ませようとされたそうです。

そこで、大女将さんはご主人と知り合い、結婚されたそうです。そんなお父様は、まわりの後押しで町会議員もされていたらしいです。きっと周りの方達のために、走り回られる方だったんでしょう。その後は、大女将さんは、旅館を継ぐことになり、ご主人としようとするのですが昔の旅館のままでは継ぎたくないため、試行錯誤をされていたときに、雑誌で見たお宿の雰囲気が良く、そこに実際に行かれたそうです。そこは、すごくおもてなしの心があるお宿で、料理も一品一品こだわって出されていてお部屋は、テーブルでなくお膳で出されたそうです。すみずみにまで目が行き届いて、こんなお宿を造りたいと想ったそうです。そうして造られたお宿「のし湯」。そんな「のし湯」は、設計を一から勉強して、自分の手でこだわり抜いて造り上げられたお宿使われている木の素材にもこだわり抜いています。

又、お部屋の調度品から廊下の片隅にお いてあるものまで大女将さんが、みずからの足で見つけてこられたものが飾られています。普通であれば、こんな所には花を生けるを発想が思いつかない所に花が生けてあったりします。お客様が、どこに目をとめてもいいように彩らせています。だから何回訪れても、毎回新鮮な気持ちにさせてくれる、おもわず「ただいま」と言いたくなるんだとあらためて思います。以前、ご主人よりお聴きしたことがあります。

「NAYA」というラウンジがあり、その二階で、ご主人がカクテルとかを入れて下さった時に、ここは納屋（馬小屋）だったものを移築したんだということ。お宿にとりいれることは出来ないかと常にそんなことを考えているんだと目をキラキラさせながらお話をして下さったことを今でも覚えています。その情熱は、衰えることなく今も続いています。その、情熱さは「おもてなし」の心なんだと思います。

のし湯のことになるとついつい私も、次から次へと思い出があふれ出てしまって・・・肝心の大女将さんからの話しからそれてしまいましたね。

ただ、わたしがいまこう感じていること自体が、もうドラマだということ。そして、大女将さんと共に頑張ってこられたスタッフの方々との別れもありましたが、だからこそより一層磨かれた「のし湯」に今生れかわろうとされているんだとおもいます。そんな大女将さんの想い、ご主人の想いが若女将さん共にご主人へと受け継がれようとされているのです。

次回「のし湯」に訪れた時にどうなっているのか楽しみです。そして「戸無しのそばや」の和男さんの話もあるのでお楽しみを～！

あまでうす

《あやかし》

エピローグ

ロビーで皆と談笑をしていると、カップルが去り、３人のグループも去りと、我々２人が残ってしまったので、部屋に戻ることにした。障子を開けると、布団がふたつ敷かれていて、そこには、青行燈が前よりも増して、いっそう怪しく灯っているように感じた。「このまま消さずに点けておけばいいのかなあ」と正美に何気なくふると「油が切れたら自然と消えるて」「さもありなん！」と返事をし、そろそろこの旅の核心に迫り、おぞましい話しをすることにした。「そういえば、友人から訊き出したんだが、この宿に泊まったとき、妙な体験をしたと言ってたなあ」「なんや、それを早く言えよ。ほんでなにがあったんや」「実は、この行燈の灯りを夜な夜な消して歩く、おんなの妖怪が出ると言っていた・・・他の部屋にも同じ行燈が置いてあったよなあ、それをひとつひとつ消していくそうだ」。すると正美が「ちょと待ってちょ、その妖怪ちゅうのは・・・おそらく火消婆やて・・・で、視たと言っとったんか？」「いや、姿は見えなかったが、枕元をス～と何かが通った気配はしたと言っていた。それに、友人と一緒に行ったツレが、霊感があるようで、青行燈の後ろに立っている老婆を視たそうだ」。

隣の部屋とは、壁で仕切られているため、様子は分からないが、何か怪異が起きれば声は聞こえるはずである。「その行燈を消して歩くおんなをこの機会に視てみたいよな」「あ、わしもご対面といきたいもんやて」と正美は言っているが、妖怪には精通しているとはいえ、実際に目の前に現れたらどうなるか・・・「そうは言ってるが、ほんとうは怖いのじゃないのか？　まあ、妖怪は湧くというから、いきなり現れてもなんら不思議ではないが・・・ちょうど、今夜のような上弦の月の夜に出るそうだぞ」「妖怪は、お椀の舟に乗ってご登場ってか・・・」「そんな風流なものなら大歓迎だ」

「ますます今夜が楽しみになってきたわあ」。こんな話をしていると、まるで行燈が、今の会話を聞いていたかのように、フワッと灯りが消えた。正美の仕業だと思い「・・・おい、いきなり消すなよ！」と言うと「アホか、わしは消しとらんぞ！」「じゃあ、誰が消したんだよ。タイミングが良すぎないか？」「・・・ひょっとしたら、ろくろ首が油を舐めていったりして・・・」。こんなときにも冗談が言えるのは、腰が据わっているか、それとも・・・。

灯りが消えると漆黒の闇かと思ったが、行燈の灯りの残影がしばらく残った。そして、障子を照らす月明かりで、幽かに周りが見える。正美が「隣の部屋も消えとるんかなあ・・・」「なんだよ、おれに見て来いと言ってるようなもんだぞ」「さすが、理解がはやい！」。このままでは、ぐっすり眠る訳にもいかず、意を決して障子を少し開け隣の部屋の方をそっと見ると・・・音もなくス～と障子を開けて現れたのは、上弦の月に浮かぶ、白い着物姿の奥さんであった。そして、おもむろにこちらを向き、ささやくようにこう言った「ひ・・・の・・・よ・・・う・・・じ・・・ん」

この物語はフィクションです。

川風

しらいし　みほ

もうすぐ　あと半月で　１才のらんちゃん。

９月９日は土曜なので翌日日曜の朝から赤飯を炊きお料理を作り、頼んでいる餅ふみの紅白餅と鯛をとりにいって手形足形をとり「選び取り」といった　そろばんやふで我が家の場合サッカーボールに竹刀をおいてらんちゃんに選ばせるという　１才の誕生の行事をよていしている。

この頃のらんちゃんの成長を振り返ってみよ～。

「うんめ～～っ！！」離乳食を一口食べるごと　目を大きく輝かせ顔を上に向けて　おいしい顔ってどんな顔♪を　してみせてくれていた。

最近は　お姉さんになったのか　うんめ～と言わない。笑。

おしゃべりは　パッパー（パパ）　バーッ！！（ばあちゃん！じいちゃん！）　うんま～（ママ）

ワンワン（いぬ見て）

ババイ（バイバイ）

手のひらを　上に向けて　グーパーグーパーを繰り返す。

やった～！（両手を上に上げて満面の笑顔）

電車が通るごとに電車に向かって　バイバイ

ジーが抱っこすると　外につれてけと手を進行方向へ　水平に指す

単語だけでなく　何かわからないがよくしゃべる。

つかまり立ちから伝い歩きを　しながら　狙った獲物をとりにいくが

なるべく　ハイハイ時期は　ハイハイを狭いながらも　引きずり下ろして　ハイハイに転向

このとき、ジーとパパとママは

後ろ向きで足から降りる術も覚えてる。

ついこのまえは　トイレでおしっこをしたんですよと保育しさん。

いちばんは　狙った獲物をみつけたら眼光鋭く笑みをたたえて　こっそりつかまえにいく。段ボールというか、珈琲とかお中元の箱とかの角から　かじって食べる！

紙類は必ず食べる。

後ろ向きで　やってるときに「らんちゃん！！」というとちょっとびくっとした感じで　み～た～な～と　いう顔になる。

異年齢のお友達が大好きで

「オッ！！」

「オッ！！」　と片手をあげてらんちゃんはここだよ！！　げんき！！と声をかける。

かけられた　公園とかにいる　大きな子は　だいたいかたまり動けなくなる。

保育園では「らんちゃ～～ん」

「らんちゃ～～ん」

「らんちゃんまてま～～」をやりだす。

「キャッ！！」と身をひるがえし　ハイハイの　猛スピード で　一目散に逃げる。

せまい　あっちいき　部屋の中でいき　いきこっちに逃げ回るらんちゃんを　おいかけて　笑わす。

椅子も　くるりと身をひるがえしたかとおもうと

と　年上の　お姉ちゃんお兄ちゃんたちからとってもかわいがられるから　世の中のすべての子どもは　らんちゃんのことを知っている。

知っていると思っている。

声を立てて　ゲラゲラ笑わせることができるのは　パパとママだけ。

何度か挑戦し　一瞬でも　声を立てて笑ったときのうれしさは　何物にも代えられず

ジーは　密かに　らんちゃんをゲラゲラ笑わす　技を　こっそり試しているのを知っている。

ゆいつ、ずっとゲラゲラさせたのは　湯船の　バチャバチャ！！らんちゃんを背中から抱っこして　目の前の湯を　パチャパチャ手のひらでたたいた瞬間　ゲラゲラ　ケラケラ　いや　コロコロ　とにかく　す～っと　何度も笑ってくれたときには　部屋まで聞こえたであろうらんちゃんの笑い声を　心ゆくまで味わった！！

一番のブームは　イタリアの　ボンジョ～～ルノ！！　の発音のときに使う　舌を回す？？

ドゥルルルっ！！って　発音になるあれだ！！

おくの歯が生えだしたのか　ブルブルブルブル～～

ドゥルルルっ～～～と　舌と唇を震わせて音を上手に長く出してる！！

これは昔っからママの得意分野でもあるから　ママも負けじと　やるもんで　いつのまにか　ブルブルブル～～～ドゥルルルっ～～

合戦が始まる！！

あんなに長く　この２人以外挑戦するが誰も出来ない。

２人はいつも勝ち残り　さいきんは　その長さに　りおんさえもかなわなくなり　らんちゃんの連続勝利だ！！

それは　得意げに何度も何度も　もうおしまいなの？

あたち、まだまだできるわよ♪　ってやってみせてくれる。

このまえ　あたしがおならをしたら　ブルブルブルブル～～～と言いだしてママと笑い合った。

合戦が始まったと思ったか。今のはばあちゃんのおならたい！

かと思うと、とつぜん　首を　よこにぶんぶん振る。

「なんなのこれは？？」

タテにリズミカルに　首を振りながら座ったまま

体でも　リズムをとるポーズが　マイブームのらんちゃん。

これはわかる。

首が横に　ぶんぶんふられて　リズムに乗るそれは何？？

ママが先生に聞くと「いま、１歳半の子が　うんうんとうなづく頃で　よくやってるのをみてらんちゃんは　まねっこしてるんですよ。」

先生！きょう、らんちゃんが　おしりで　前に進んだんですよ！！

すべり台とかで　よくやるんです。もう少し前にいこうと思ったときに　おしりで　クイックイッ！と　前進するのも　覚えている。

まねっこが　大好きで　いただきますも　何回もやり

となりの部屋の子がやることや　大人のやることを真似します。

先生の手を　とって　頂きますと　手を合わせてくれたときは　うんうん　やれってことね！と　思ったとか。

リズムの音楽が聞こえたら　体を動かして　リズムをとる。

イナイイナイバ～を　ちっちゃな両手を　ちっちゃな顔に押しつけて　バ～という仕草もする。

らんちゃんそれとって！ちょ～だい！

というと「てて」といって　どーぞとしてくれる。

いかにも　人生のよろこびを　全身で表してる様が　すばらしい

風地蔵新聞　２０１７年９月３日　第１６７号　No．２

早いもので

大橋　美紀

祖母が亡くなって、もう1年になります。明日は1周忌の法要です。ちょうど1年前の今日は、亡くなる3日前。ほとんど話すことの出来ない祖母。この夜から私は祖母の傍で眠った。といっても眠れやしない。2人だけの病室でなんとか意思表示のできる祖母に私は7月号の風地蔵新聞に書いていた祖母への想い、思い出を耳元で読んだ。途中涙が止まらなくなり言葉をつまらせてしまう私を祖母はじーっと見る。最後まで読まないとこれまでの感謝が伝わらないと涙をこらえて読み終えた。

すると祖母は最後の細い声で「これでさよならやね」と言った。その声は忘れることが出来ない。私は目を涙でいっぱいにして「ばあちゃん本当に今までありがとう」と48年間の感謝を伝えられたことが、もうすぐ祖母との別れが来ることを受け入れられた。それから亡くなるまで私は一方通行の会話をし続けた。「ばあちゃんちょっとトイレに行ってくるね」「ばあちゃん飲み物買ってくるね」「ばあちゃんどこか痛くない？」「ばあちゃん美紀はここに居るからね」どれだけ言葉をかけても返ってこない。でもきっと返事をしていてくれたことでしょう。亡くなって最後の夜も私は祖母の眠る布団の横に布団を並べ一晩中祖母とのおしゃべりを楽しみ続けました。私以上にお話が大好きな祖母でしたので、負けずと話してくれていたことでしょう。あしたの法要には、ばあちゃんのDNAを引き継いだ娘さんが3人いらっしゃいます。きっと食事会の時は賑やかな時間となりそうです。この8月4日祖母の一番上の娘さんのご主人が亡くなった。「20日法要行くでね。その時いっぱい笑って話そうね。」と言った言葉は、この1年の叔父の看病をし、疲れ切った叔母がやっとゆっくりできるという気持ちから出た言葉なんだろうと思いました。

私が生まれる前、もっともっと前の祖母のことを知っているのは叔母達です。私の知らない祖母の話を明日はたくさん聞こうと思っています。私にとっての祖母はいつも優しく私の手を引いてくれていた。しかし、祖母の子育てはとても厳しかったと聞きました。どんな厳しい祖母だったのか知らないことを聞くのが今夜からとても楽しみです。祖母の話をしながら祖母を偲んで祖母が設けてくれた人と祖母への感謝の思いを新たに自分自身も見つめ直して、次の日からのエネルギーにしていきたいと思っています。

お便りします

久しぶりに風地蔵に行ってみましたが、以前とは変わらずそのままのお店で鎌澤さんがお元気に働いておられました。新聞も読ませてもらいましたが、田中さんの相変わらず思いのままの文章も懐かしく思いました。（神戸町　Kさん）

母様孝行が出来ましたね。（太宰府市　Tさん）

新聞をいつもありがとうございます。夏本番となり出る言葉は「あつい！あつい！」の毎日です。凱翔君の「GWの旅」楽しく拝読しました。旅の様子が目に見えるような描写は素晴らしいと思います。文才がありますね。次号を楽しみにしております。（春日市　Mさん）

ちょっと立ち話

昭和の歌のコンサートよかったよ。歌詞カードがあるといいな。帰りに又それを回収するといいやろ。あとサブちゃんの唄も入れて欲しいなと思います。（大垣市　Mさん）

旅館の朝食は本当においしいですよね。普段朝食を食べない方でも旅館の朝食はお代わりするほどですから。黒川温泉のカレンダー、本当に大垣の皆さんにも喜んで頂けましたありがとうございました。今年は豪雨が多く全国で被害に遭われた方が多くいらっしゃいます。関東では8月に雨ばかりで夏らしくないみたいです。

実家で弟と甥っ子が毎年山のようなカブトムシを育てています。母がケースから脱走するカブトムシにギャーギャー言っていますよ。（大橋）

温泉旅館組合の方がカレンダーの件で電話をかけてくれたとき、出たのは私です。タッチの差で社長達が帰ったあとでした。TVで被害の状況をただビックリです。あんな大木が根ごと押し寄せてくるし湯さんの様子は写真で拝見させてもらいました。素敵なところですね。黒川

椎茸コロッケ定食にしました。おいしかったですよ。お腹いっぱいになりました。中野さんの「恋の綱わたり」よかったです。その後エピソードをお聴きしてよけいに心に残りました。集中豪雨の恐さは30年以上前に味わった事がありますが、もうそれ以上の映像にビックリしました。本当にテレビでは同じ映像しか流れません。情報が被災している地域になかなか伝わらないですね。五月人形の話し、成る程と思って読みました。カラスは頭がすごくいいですよね。自然界の掟が勉強できたんですね。あまでうすさん、続きが待ち遠しいです。このあとどうなるんですか？（鎌澤）

恐ろしいです。明治に山の木を切りすぎて土砂崩れがひどく、砂防ダムを造ってあるところがあります。人間のエゴによる災害です。

大橋さんのダムカレーの写真を見ましたが美味しそうです。ダムマニアという方が結構多いと聞きます。最近、鳥害で何万匹いた金魚が100匹程まで減り、何億という被害が出たと聞きます。カラスは子猫も持っていって食べてしまうと聞きます。恐い話しです。（原）

先日、大橋さんの小旅行を読んでいってみたくなって息子と行ってきました。残念ながらダムカレーは売り切れていました。店長おすすめの

第１６７号　風地蔵新聞　２０１７年９月３日

お墓参り

原　由里子

今年の３月に父の弟が亡くなりました。父の実家は岐阜県中津川市にあり、お墓も近くにあります。２，３年前におばさんが亡くなり、誰も住んでいません。父の弟が住む予定のお墓参りをする人がいないんです。同じ岐阜県でも中津川は長野県に近く、大垣市からは高速で約２時間かかります。

名古屋電車で行くにも、中津川まで乗り換えます。各駅停車での鈍行が多く、電車代も時間がかかります。私は車を持っていなく、乗せて行ってくれる簡単にはお墓参りに行けません。１人でお墓参りに行くようにしています。

１年に１度だけ両親は健在で、一緒に住んでいますが、遠くの暑さで疲れてしまう。それとお墓参りなんって死んでも関係ないしんやって！」と言ってくる。

「一緒にお墓参り行こうよ！」と。

「たんこぶがあります。前に言ったはずです。無意味な争い人の母はいつも疲れるだけです。心は姉がいるのに、簡単にはいかない！」

「返ってきた言葉は、「うゝん、いいわ。お姉、興味ないし」でした。

頃の休みに行くのは８月の初めの休みとお墓参りまとまりました。

夏休みとお墓参りまとまりました。

「青春１８きっぷで販売売っているのを利用し、お墓参りてといいるのが利用し、お墓参ります。

私のようにいつも中津川駅からバスやタクシーを使わないで、歩いておケットを購入するのをおすすめします。

ケットは使わない人は１回しか使わないです。

父の実家が近いことが、意外の救いだったのが、たくさんの方は、水の入ったペットボトルを用いると思います。

道費がっ！ここは管理がないです。分、水費が入らないです。車で

生えた、雑草取りです。

山のなかにある上、中津川は廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）なので、お寺はなく神道なので、管理されていない墓地ではないです。

雑草とは言いがたいものまで生えていかるものまで、雑草取りにかかりました。

時間がかかります。

次に墓石を洗います。

荷物にアリが来ないように地面にあり、アリも多いので、スプレーをかけます。次にモサモサに

ようにスプレーをかけます。

まずやるのが、虫もありますが。

墓地の敷地を通らないと墓地に着いけないというのが、路がなら通りのでお墓の奥にある原家の墓まで、他のお墓

ましまして、「失礼します。」と言いまして、おじゃまします。

夏だけ酒を歩いて持って行くグラシが合唱していヒ

比較的雲が多く、去年に比べると歩きやすかったというのに、

桜餅、フルーツゼリー、ジュース、お茶、おそば、みたらし団子、助六、

お供え物は、今年買ったものです。

頂いたお墓参りの方法「正しいお墓参りの方法」

たいた生きしていて、私が

ちいさな嬉しいもの

実践している人が

載っていげます。

ょうとん差し上

駅からスーパーがあるので、そこで買いものです。

物ただ、８月２０日閉店しまして完全で、来年はどうするのか考えています。

途中必要なものを買いそろえます。

お墓まで行きます。

真夏のまさか

長男の少年野球の大会で真夏の四日市へ。
「東海選抜」という名の伝統ある大会。四日市周辺の勝ち上がったチーム。
ウチは昔からの繋がりでご招待。なので、ここ十年くらい一回戦負け。

今年もそうなるはずだった。。。トンボ返りで仕事を入れてあった。
一回戦まさかの大逆転勝ち。二回戦もまさかのコールド勝ち。どうしたの？

次の日の準決勝は三重県三位のチーム。まさかは続く。おいおい。
そして決勝戦。

34年前自分もこの大会に出ている。昨日のことの様に
覚えている。入場行進。四日市コンビナート。
みんなで泊まって四日市祭りに行ったこと。三重県が関西弁で
びっくりしたこと。みそ汁が赤味噌じゃなかったこと。

それにしても親子そろって決勝戦で逆転サヨナラ負けするとは。。。
次は次男三男に託すか？それとも自分の孫か？

庭師　奥田良樹

辛かったです。

とりあえず墓石を洗って、新しいぞうきんで拭きとりキレイに仕上げました。

片付けをして手を洗ったあと、ロウソクに火をつけて、お線香を焚き、買ってきたお供え物を出して広げました。

そのあと手を合わせ、「つつがなく生きさせて頂きますようにお願いします。」と言って、おまいりました。

お供え物は置いておけないので、持って帰りちゃんと頂きます。

時計を見ると１８時。明日は仕事なので、雑草取りとお墓掃除だけしたという滞在時間でした。

しかし、山のヤブ蚊は強い！６～８時間持続する！虫よけスプレーが約３０分効果が切れます。買ってきた半分まで減っていました。

墓地から外に出ろ天然塩を後にかけながら歩きます。

帰りも歩いて駅に向かいましたが途中、不思議な出来事がありました。

実は、墓参りをすると必ず不思議体験をします。

帰り、下り坂の山道を歩いていると、１匹の虫がたかってきました。

思っていると、「あ！」と、耳で聞こえたという言葉が何回か響いてきました。

心で感じる言葉が難しいですが。

言葉で言い表すのが難しいです。

恐いと思わず素直に、お礼を言いに来たんだなと思いました。

暑いし疲れますが、悪いことではないです。

何もしないのが可哀想です。

お墓にいる方が来年も、お墓参りに行こうと思いました。

おわり

ぷり、夏に頃の休みに行くのは８月の初めの休みとお墓参りまとまりました。

「青春１８きっぷで販売売っているのを利用し、お墓参りてといいるのが利用し、お墓参ります。

私のようにいつも中津川駅からバスやタクシーを使わないで、歩いておケットを購入するのをおすすめします。

ケットは使わない人は１回しか使わないです。

父の実家が近いことが、意外の救いだったのが、たくさんの方は、水の入ったペットボトルを用いると思います。

道費がっ！ここは管理がないです。分、水費が入らないです。車で

生えた、雑草取りです。

山のなかにある上、中津川は廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）なので、お寺はなく神道なので、管理されていない墓地ではないです。

雑草とは言いがたいものまで生えていかるものまで、雑草取りにかかりました。

時間がかかります。

次に墓石を洗います。

荷物にアリが来ないように地面にあり、アリも多いので、スプレーをかけます。次にモサモサに

ようにスプレーをかけます。

まずやるのが、虫もありますが。

墓地の敷地を通らないと墓地に着いけないというのが、路がなら通りのでお墓の奥にある原家の墓まで、他のお墓

ましまして、「失礼します。」と言いまして、おじゃまします。

夏だけ酒を歩いて持って行くグラシが合唱していヒ

比較的雲が多く、去年に比べると歩きやすかったというのに、

桜餅、フルーツゼリー、ジュース、お茶、おそば、みたらし団子、助六、

お供え物は、今年買ったものです。

頂いたお墓参りの方法「正しいお墓参りの方法」

たいた生きしていて、私が

ちいさな嬉しいもの

実践している人が

載っていげます。

ょうとん差し上

駅からスーパーがあるので、そこで買いものです。

物ただ、８月２０日閉店しまして完全で、来年はどうするのか考えています。

途中必要なものを買いそろえます。

お墓まで行きます。

辛かったです。

とりあえず墓石を洗って、新しいぞうきんで拭きとりキレイに仕上げました。

片付けをして手を洗ったあと、ロウソクに火をつけて、お線香を焚き、買ってきたお供え物を出して広げました。

そのあと手を合わせ、「つつがなく生きさせて頂きますようにお願いします。」と言って、おまいりました。

お供え物は置いておけないので、持って帰りちゃんと頂きます。

時計を見ると１８時。明日は仕事なので、雑草取りとお墓掃除だけしたという滞在時間でした。

しかし、山のヤブ蚊は強い！６～８時間持続する！虫よけスプレーが約３０分効果が切れます。買ってきた半分まで減っていました。

墓地から外に出ろ天然塩を後にかけながら歩きます。

帰りも歩いて駅に向かいましたが途中、不思議な出来事がありました。

実は、墓参りをすると必ず不思議体験をします。

帰り、下り坂の山道を歩いていると、１匹の虫がたかってきました。

思っていると、「あ！」と、耳で聞こえたという言葉が何回か響いてきました。

心で感じる言葉が難しいですが。

言葉で言い表すのが難しいです。

恐いと思わず素直に、お礼を言いに来たんだなと思いました。

暑いし疲れますが、悪いことではないです。

何もしないのが可哀想です。

お墓にいる方が来年も、お墓参りに行こうと思いました。

おわり